

平成25年度 事業報告

公益事業1：心とからだの健康保持及び増進事業

1. 健康増進の普及・啓発事業

(1) 普及啓発活動

ホームページを活用し、がん検診及び特定健診・定期健診等の紹介や、自分自身で生活習慣をチェックできるページを設けるとともに、新聞にも、食事や運動等健康に関する情報を年4回シリーズとして掲載する等、広く香川県民の健康増進のための有意義な情報提供に努めました。

健診結果から有益な情報を発信するために大量のデータの収集が必要になることから、ホームページ・新聞・街頭啓発活動等を通じて、がん検診及び特定健診・定期健診等の受診勧奨を行いました。

当協会においても、別館一階に設けたガイドルームの積極的な活用を図りました。具体的には、「野菜を一日350g以上食べましょう」のテーマで野菜摂取を促したり、食事バランスガイドを基に、自分自身で食事内容の振り返りができるコーナーを設けました。併せて、運動や禁煙方法に関する情報も紹介しました。

その他、国・県が主催する健康イベント（HIV検査受診啓発週間等）への協力をしました。中でも、県主催イベントである平成25年10月「かがわ介護・食育フェスタ」では、野菜摂取を促す展示やクイズコーナーの出展等により、多くの来場者の方に好評を得ました。

同時に、香川県民には糖尿病患者が多いことから、糖尿病について情報提供の展示も行い、HbA1c（過去1～2ヶ月の血糖値の状態を表す数値）の無料測定や、結果が出た後には、保健師が個別健康相談を実施する等、健康増進啓発活動に積極的に取り組みました。

2. 調査・研究事業

(1) 精検追跡調査・がん検査・有症率調査

各種調査は、当協会の各健診事業の健診結果データに基づき、その後の状況追跡をして情報を収集し、地域の特性を知るためには経年的に継続調査することが重要です。そのため、データ解析用機器を設置し、解析精度の向上を図るために過去結果データ20年分のデータベース化を計り、データベースを元にした疫学的課題の検討を進める予定です。既に作業を開始し、平成21年度から平成23年度までのデータを取込済で、現在、データベース構築中です。

(2) 学会発表及び研修会

各種検診の多様化、高度化に対応するために、課題や研究テーマを設定し、データ分析の結果や日常業務において気づいた点等の研究を行い、関係各機関が実施する学会、研修会等に職員を積極的に参加させるとともに検診検査技量の向上を計りました。

主な学会参加・発表及び研修会一覧

年月日	学会・研修会・講習会名	内容	所属課名
6月14日～6月15日	日本超音波検査学会学術集会	超音波検査知識向上	施設検診科
6月22日	精度管理研修会 日本総合健診医学会	優良施設認定更新の為の研修会	総務課
6月27日～6月28日	日本乳癌学会学術総会発表	当施設における乳癌検診の受診間隔と発見される癌の特徴について	医局
8月25日、9月15日 ～9月16日	デジタルマンモグラフィ講習会	マンモグラフィ精度管理研修会	放射線科
8月29日～8月30日	全国情報統計研修会	日常の問題点の解決研修会	業務課
12月7日～12月8日	胃X線精度管理研究委員会学術集会	有効な追加撮影について	放射線科
1月31日	総合健診医学会	健診に関連する総合討議学会	医局
2月28日	予防医学技術研究会議発表	マンモグラフィの撮影条件に関する検討について	放射線科
3月1日	日本マス・スクリーニング学会	技術部会研修会	検査科

(3) 健診データの分析・提供

健診で得られたデータを各部署で分析し、毎年作成している事業報告の作成配布により情報提供を行っています。事業報告については、予防医学事業中央会各支部並びに、県・市町の健康担当課及び当協会利用事業所に事業報告書（健康管理の参考資料）として、配布させていただいております。引続き、健康管理上の必要な情報の提供に努めてまいります。

平成25年度は、特定健診：12,000件、特定保健指導：動機づけ支援230件、積極的支援110件を実施しました。さらに、事業所及び職域健診：32,700件、肺がん検診：26,500件、胃がん検診：10,800件、乳がん検診：5,000件、子宮がん検診：5,100件、前立腺検診：5,400件、大腸がん検診：22,700件、学校心電図検査（標準12誘導）：11,700件の各検診・検査データ約120,000件を収集しております。

また、自治体や企業が健診結果から何を要望しているか、担当者が必要とする健康増進の取組みに活用できる情報を直接検索できるソフト構築が完了し、今後は、デモ等を通して、本ソフト利用推進を図る予定です。

機器などの整備は保健医療技術や情報技術などの進歩を踏まえ、検診検査精度の維持向上、顧客サービスレベルの向上及び業務効率化等に対応するために最新検査機器の調達更新をしました。

精度管理の推進については、健診検査技術者の技量水準を一層向上させるため、技術研修会や日本公衆衛生学会などに参加しました。

精度管理の推進については、内部精度管理の徹底を図るとともに外部精度管理にも積極的に参加しました。

また、日本医師会、日本臨床検査技師会、県臨床検査技師会等にも参加しました。

公益事業 2：新生児の先天性代謝異常症の早期発見に必要な各種検査事業

1. 先天性代謝異常検査（タンデムマス法を用いたマス・スクリーニング検査）

平成 25 年度は香川県をはじめ県下医療機関協力のもと約 8 千件（香川県分）の受託検査を実施しました。タンデムマス法により、19 疾患（新たに 13 疾患）のスクリーニングが可能となり、偽陽性例や偽陰性例についても精度の高い検査結果を提供できるため、引き続き、先天性代謝異常疾患の早期発見並びに早期治療に役立ててまいります。

以 上